

KSKPコリアボランティア協会ニュース, No.28 (1998.4.2号)

コリアボランティア協会編集部編

発行:大阪 : コリアボランティア協会, 1998.4.16. ; 8,[2]p

請求記号:震災-7-z82

※震災関連記事のみテキスト化しています

<震災支援>

全国のみなさま、変わらぬご支援、感謝します

前号で紹介以降、新たに支援の輪に加わった、茨城の軽野小学校、兵庫の中山五月台中学、香川の西部小学校、東部小学校、吉原小学校、南部小学校、中央小学校、筆岡小学校、与北小学校、滝川小学校、そして被災地宛ての手紙や応援カンパを寄せて下さった全国のみなさま、変わらぬご支援ありがとうございます。

手紙から始まったボランティアの輪も広がり、この春も、小中学生の文通をしているみなさんが被災地を訪ずれ、先輩から後輩へボランティアのバトンタッチもすすんでいます。

災害支援法、NPO法案と続々、国会を通過したものの、被災者・支援者には空虚な内容となりました。しかし、中味を入れる入れ物はできました。これからです。

「仮設には戻りたくない。でもみんなに会いたい!!」訪ねて来る人も減り、扉を開けても顔の見えない密室、仮設から出たお年寄りを訪ねるとよく耳にする言葉です。仮設の統廃合が進むにつれ、孤立化する方も増えています。

当協会では、4月の新学期より、神戸市長田区の小中学校（24校）を1校1校訪ずれ、学校ぐるみの取り組みとして、先生・生徒、ボランティアが一体となって、定期的に地域のお年寄りに「全国文通文集」を届けられるよう呼びかけていきます。孤立化を防ぎ、これ以上、「孤独死」と呼ばれている無念死を出さない為のコミュニティづくりとネットワーク化が不可欠なものと考えています。全国からの1通でも多くのお年寄り宛ての手紙と、文集を1冊でも多く作る為の資金カンパを願いつつ... <鄭チョン>

[写真あり 「震災」を伝えて（大阪府堺市、金岡北中学校にて） 省略]

(c)1998コリアボランティア協会編集部(デジタル化：神戸大学附属図書館)